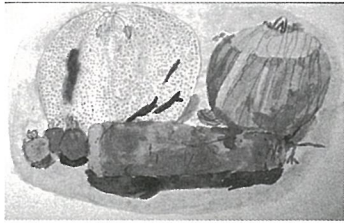




1年 國方 祐輔くん

※ブレイブフル
ーツをかくの
と、影をつけ
るのが難しく
たです。



『野菜と果物』

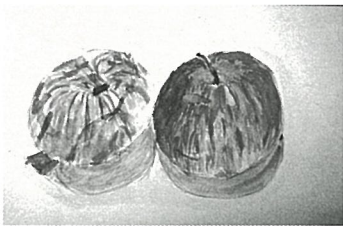


1年 実川明日香さん

※色を混色する
のがむずかし
かった。くぼ
みの部分をく
ふうしました。



『パプリカ』

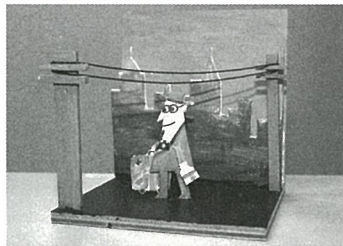


『りんごと玉ねぎ』



1年 荻原 可奈さん

※特に、傷があ
る所や、色の
こさなどを気
をつけてかき
ました。



『帰 国』



3年 林 成美さん

※海外出張から
帰国したサラ
リーマンの自
宅までの帰り
道を表現して
みました。



3年 田川 大くん

※ゴッホの絵に
近づけられる
よう、頑張り
ました。

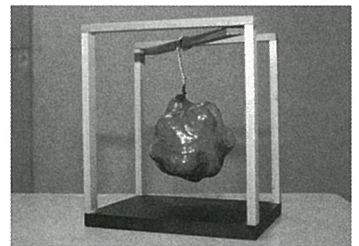


『星月夜』



3年 大木 裕司くん

※自分なりに心
のもやもやを
形にしてみま
した。丸くす
る作業が大変
でした。



『心のもやもや』

梅雨晴間ステッキならぬ老いの杖

評者 椎名しげる

梅雨晴に畑のにぎわい声高く

評者 土屋美枝子 (宝米)

梅雨晴れや農薬散布に追われけり

評者 大木 素風 (二又)

梅雨晴や弾傷痕は日焼せず

評者 川島 重一 (尾垂)

散り繁く笹の嵐や竹の秋

評者 伊藤 定男 (尾垂)

梅雨晴るる野菜畑に時忘れ

評者 伊藤 雅子 (尾垂)

今日の最高点の作品であるが舌足

らずの気がしないでもない。作者

なら気付く筈である

梅雨晴間蟻の行列わたり行く

評者 大谷 武彦 (木戸)

何処へ行くのか蟻の行列が一行を

なして梅雨晴れの地上を移動して

いる

層なせる彩雲なびき梅雨明け

評者 布施 和代 (二又)

太陽光線によって七彩を帯びた雲

が華麗でありそれは梅雨明けを思

わせる

ひかり俳壇

